

～日本文化研修で佐賀県を探訪しました。～

九州共立大学及び九州女子大学所属の短期留学生、九州共立大学・九州女子大学・九州女子短期大学国際交流・留学生センター所属の短期研修生、および九州共立大学の学部留学生の計 12 名は、11 月 12 日（土）に日本文化研修で「佐賀県探訪」へ出かけました。

まず唐津城では、城下町のジオラマで築城当時の町並みを知ることができ、天守閣の展望室からは、唐津城の別名「舞鶴城」のゆえんとなった左右の翼のように広がる砂浜や、名勝「虹の松原」を望むことができました。天気に恵まれ、遠方まで見渡せる眺望の素晴らしさには、学生たちから歓声が上がるほどでした。日本独自の文化である城を見学するととても良い時間が過ごせました。



また伊万里・有田焼伝統産業会館では、約 300 年の歴史を誇る伊万里焼の焼物見学と、皿への絵付け体験をしました。見本の絵皿を参考にしながら、学生たちは思い思いの絵を描き、普段は見せない画才を発揮する学生の姿も見られました。絵皿は窯で焼いた後、1 ヶ月ほど後で送られてくるのですが、どの学生も届くのが待ち遠しいほど上手に絵付けができていました。日本での学生生活を懐かしく思い出してもらえる絵皿となりそうです。

